



☆季節の花 向日葵
花言葉：愛慕、崇拜



発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3F

TEL (086) 214-3911

2020年8月号 No.346

E-mail: kikanshi@okayama-min-iren.org

URL: http://www.okayama-min-iren.org

コロナ禍での各事業所の取り組みの紹介

大好評！
リモート班会

新型コロナウイルス感染症の拡大による「新しい生活様式」のもと、遠隔で2会場をつなぎリモート班会を行いました。

上道支部主催の健康講話



画面越しに「久しぶり！」

「久しぶり！」と交流したりと、コロナでなかなか会えなかった時間を飛び越えてみんなの笑顔もつながり大変好評でした。

今まで通りに集まなくても、場所が離れていても、現地に講師が行けなくても、人と人、地域と事業所がつながる新しい取り組みです。

田中 裕子
(岡山医療生活協同組合健康まちづくりセンター)

コロナ危機、連帯の力で乗り越えよう。

手術室で使用する資材の流通不足が続いています。

5月の半ば、当院手術室では一定の在庫を保持していたため、資材不足によって手術を中止している民医連病院がないか、岡山県民医連を通じて中四国地協に資材提供を申し

し出たところ、徳島健生病院と高知生協病院から、それぞれ手が挙がりました。

早速、手術用ガウンとマスクをお送りしたところ、徳島から「あてにしていた業者からの入荷が不可となり困っていました。団結、連帯、気配

緊急事態宣言前から対策を...

平福診療所では、岡山県に緊急事態宣言が出る前から、新型コロナウイルス対策を行っていました。待合室では10人以上になる前に、臨時で待合となった2階の組合員ホールに案内し、密にならないようにしました。また、医師はフェイスシールドに防護服を着用して診療業務にあたりました。受付は外にテントを張り、発熱者を院内に回さないように配慮しました。



診察中の医師

患者様からは「きつちりしてくれてるから安心して受診できます。」や、「大変だねえ。ありがとう。」と、温かい言葉をいただき乗り越えることができました。

住吉 由里
(平福診療所)



受付は外のテントで

りに気をつけながらこの難局を共に乗り越えましょう」のコメントとともに、お礼のイラスト漫画が届きました。高知からは、丁寧なお礼の電話がありました。民医連病院の一助になれて、当院の手術室スタッフも喜んでいきます。

亀山 真一
(水島協同病院)



徳島健生病院より

点 滴

7月に入り新型コロナウイルス感染症は、東京を中心に全国で連日700人を超える感染者に達した。これまでの総感染者数は、3万人を超え感染拡大第二波は大きな脅威となっている。岡山でも海の日からの4連休に連日感染者が報告され新たな感染拡大の段階へ進みつつあり市民にとって大きな不安となっている。▼それに先立ち、6月25日政府は全世代型社会保障検討会議第二次中間報告を発表した。当初9月に最終報告を出す予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大によって最終報告を年末に先送りするに伴い中間的な報告をまとめた。▼そもそも、全世代型社会保障の考え方は、これまで社会保障の範囲を医療・年金・介護・福祉とし高齢者・障がい者・児童を中心とした対象としたものであったが、労働、結婚、くらし等国民の全生涯わたって社会保障の対象とし負担と給付を強制的に国民に課するものとするのが目的である。さらに、今回の中間報告では、新型コロナウイルス感染症の拡大を社会保障の新たな課題として位置づけた。▼この間、第二次補正予算等で措置した十数兆円の施策に充てた費用を今回の全世代型社会保障の枠組みの中に組み込み、新たな国民負担化することを目指していると言っている。私たちも、GOTOトラベルキャンペーンなどに浮かれていた場合ではない。将来、そのつければ、全世代型社会保障というもともたらしい言葉に隠された莫大な国民負担となるのだから。(一)



高さが約 65cm あります

県連事務局の様子…

医療・介護の現場から離れている県連事務局ですが、感染対策として5月上旬に飛沫ガードをみんなで作りました。ビニール越しに顔もよく見えますが、やはり、飛沫ガード無しのお話がいいますね。そんな日が早く来ることを願います。

中本 満理子
(県連事務局)

「家族へのメッセージ」

林病院では、新型コロナウイルス感染症の影響で面会制限が続く中、受け持ち看護師から患者さんの様子を記したメッセージをご家族に送らせて頂くことになりました。少しでもご家族に安心して頂ける事を願いますが、一生懸命考えて書いており、それぞれの思いが伝わる温かいメッセージとなりました。

郵送の数日後、1通の封筒が私の元に届きました。それはご家族からで、メッセージのお礼と共に私達への労いの言葉が綴られていました。ご家族の不安な気

持ちからすれば、ほんの些細な取り組みだったかもしれませんが、メッセージを送らせて頂いて良かったと思えた瞬間でした。

病棟では衣類等を持参されたご家族に、窓越しに患者さんと対面して頂いていますが、それも出来ない患者さんもおられます。1日も早く元の生活に戻り、患者さんやご家族に安心して頂ける日が来ることを願っています。

山本 まつ子
(林道倫精神科神経科病院)



笑顔でいっぱい！

福祉カフェ「Ciao 芳野」

健生園在宅介護支援センターでは福祉カフェ「Ciao 芳野」の運営に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、福祉カフェも「3密」を避けるため今年2月を最後に休止してしまいました。緊急事態宣言の解除等、世の中の動きを見ながら7月から開催を復活。但し、今までのケアハウスあかねで入居者のみならずと一緒にごすたイルから休業日のデイサービスセンターをお借りして、またお茶やお菓子のご用意も自粛しての運営に形を変

えました。それでも7月12日の開催には12名余りの参加を頂き、「巣こもり生活」で運動不足になった身体のリフレッシュ指導を受けました。久しぶりの集まりにマスキュラスの笑顔でいっぱいになりました。毎月1回のペースで開催する予定です。

大野 尚子
(健生園 在宅介護支援センター)

読者カードより

コロナ禍の中で、新しいスタートを切った新入職員の笑顔がステキだ！と思いきや、元気がもらいまして。毎回「食いしん坊が行く」シリーズを楽しみにしています。

（コープ西大寺診療所 事務の皆さん）

ソワニエ26期生、入学おめでとうございます。コロナで学校生活も大変ですが、医療職を目指す若者が増えますようにと願っています。

安岡 満利子
(林精神医学研究所)



お知らせ

県連機関紙委員会では、読者のみなさんからの寄稿をお待ちしております。「食いしん坊が行く」で紹介したいお店、ステイホームの過ごし方、我が家のペット自慢…などの情報提供をよろしくお願いします。(県連事務局まで)



みんなで、ストレッチ体操

食いしん坊が行く！



本日ご紹介するのは、岡山駅東口から徒歩10分の下石井にある「スパゲッタンデー」です。スパゲッティというところ、おしゃれなイタリアンのお店を想像されると思いますが、カウンタメインで、食券のシステムになっています。一人でイタリアンに行きにくい男性にお勧めです。

小盛り、中盛り、大盛り、ダンディ盛りの4種類があり、それぞれ1人前、1.5人前、3人前、6人前となっています。最近ダイエツトをして腹部の空き容量を増やしたので、最大のメニューであるチキンカツミートを完食！深い甘みのあるミートソースを太めのパスタに絡めた食べ応えのある一品で、サクサクとした食感のチキンカツがいい



胃が限界を超えても満足感が大きい、ダンディ盛り

原田 康暉
(岡山医療生活協同組合 健康まちづくりセンター)